

## 成果の説明書

(氏名) 西川 静華	(学部) 経済学部
<p>1 重要事項</p> <p>【研究活動】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 公共財の自発的供給に関する研究 以前から引き続き、供給されるためにある一定水準の貢献を必要とする公共財への自発的貢献の研究を発展させ、査読付き学術論文雑誌に投稿する準備を進めた。</li><li>● 寡占市場でバージョンングが可能な場合の価格戦略と製品選択の研究 タブレット市場のように、同一製品の複数バージョンを各企業が提供できるような市場における価格戦略と製品戦略についての研究をまとめたワーキングペーパーに更なる分析を加え、査読付き学術論文雑誌に投稿する準備を進めた。</li></ul> <p>【教育活動】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 講義：初級ミクロ経済学Ⅰ、Ⅱ、ゲーム理論Ⅰ コロナ禍で遠隔講義となったが、コアである初級ミクロ経済学を300人超に対して効率的かつ能動的に学習させるためにオンデマンド式で講義動画をTeamsとYouTubeにアップロードし、毎回Formsを用いた課題を提出させ、オンラインで期末試験を実施した。 数学の一分野でありミクロ経済学でも用いられるゲーム理論では高校までに習得したどの分野とも異なる思考の方法を要求されるため、オンデマンド式講義動画でも繰り返し演習問題を出し、隔週で課題を提出させ、期末レポートと期末試験を実施した。両講義とも学習効果は例年の対面講義と同じかそれ以上であった（期末試験の平均より）。</li><li>● 基礎演習 対面にて主にミクロ経済学の教科書を輪読し基礎的な知識を身に着けると共に、時事問題についてミクロ経済学を用いて分析する練習として様々なトピックを用いて討論した。</li><li>● 演習Ⅰ 前半はオンライン会議で時事問題について経済学を用いて議論をし、その後ゲーム理論の教科書を輪読。後半はグループごとに一つ市場を選ばせてミクロ経済学やゲーム理論を用いて総括的に分析したものを論文にまとめさせた（中間発表一回、最終発表一回）。</li><li>● 演習Ⅱ 前半はオンライン会議で卒論のテーマ選びと就職活動のために時事問題について経済学を用いて議論をし、その後は各自卒業論文の執筆とその発表（中間発表二回、最終発表一回）を行った。</li></ul>	
<p>2 その他の事項</p> <p>【学内】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 入試運営委員会</li><li>● オープンキャンパスにて公開された模擬講義の動画撮影</li><li>● 高崎経済大学経済学会 学生懸賞論文 査読</li></ul>	

3 次年度以降の計画・抱負

- 年度前半に二本の論文を査読付き学術雑誌に投稿し、後半には関連する研究テーマで研究を開始する
- 遠隔配信を伴う対面授業の円滑な運営
- 演習の円滑な運営と4年生への丁寧な卒業論文指導